

リーマンショック当時よりもさらに増加… 景気回復「当分見込みはない」 64%

- ★ 「当面の経営上の問題点（複数回答）」について、1位が「需要の停滞」の181社。2位が「取引条件の悪化」の55社。「ニーズの変化への対応」が46社で3位。
- ★ 「数年後に開通するといわれている中国横断道尾道松江線」について、7割強の73.5%（147社）が「地域にとってプラス」と回答し、多くが、三次広域交流圏の形成や入り込み客増加の可能性を期待した結果となった。ただ、「地域にとってマイナス」との回答も26.5%（53社）あり、『通過点』にならないための活用や受け皿づくりも必要。
- ★ 「現在の雇用人員」について、77.6%（170社）が「適正」と回答。「過剰」と回答したのは11.9%（26社）と「不足」の10.5%（23社）を若干上回る結果となった。

平成22年1～3月期 三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査【概要】

三次商工会議所

平成22年4月に実施した第80回三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査の結果は次のとおり。本調査は、三次商工会議所管内（旧三次市）の企業を対象に四半期ごとに実施するもので今回が80回目。市内の500事業所を抽出し、集計企業数は227社（小売業71社、卸売業30社、製造業32社、建設業53社、運輸・交通業15社、観光・サービス業26社）で回収率は45.4%。

【概況】

今期（1～3月）の調査結果を見ると、自分の事業所の状況をどう見ているかを示す業況DIは、全業種平均で▲37.9と、3ヶ月前の前回調査▲35.4から2.5ポイント悪化した。業況が「かなり好転」と答えた事業所が全体の0.4%、「やや好転」が15.2%で、逆に「やや悪化」が33.0%、「かなり悪化」が20.5%だった。同様に、売上DIも2.3ポイント悪化して▲36.9。採算DIは、▲40.3から▲40.2と低水準で推移。原材料（商品）仕入価格は8.2から15.0と再び上昇傾向。

今回事業所に対し、「国内景気が回復するのはいつ頃と考えているか」と尋ねたところ、「当分回復の見込みはない」との回答が64%（142社）と最も多かった。続いて「2～3年後」が24.3%（54社）で、合わせて9割弱が景気回復には相当の時間を要するのではないかと考えている。リーマンショック直後の平成20年10～12月期に同じ質問をした時には、「当分回復の見込みはない」が39.9%（95社）で、「2～3年後」が26.9%（64社）であったが、今回、景気の先行きに対する認識が、当時に比べて、さらに厳しさを増した結果となった。そんな中、事業所が考えている「業況悪化への対策」（2つ回答）は、「経費の削減」（131社）と「営業力強化」（106社）が群を抜いて多かった。

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する。

業況DI	(好転割合) - (悪化割合)
売上DI	(増加割合) - (減少割合)
採算DI	(好転割合) - (悪化割合)

業況は、全業種合計で今期▲37.9。業種別では、卸売業、製造業、建設業、観光・サービス業の4業種で悪化。特に、飲食店をはじめとする、観光・サービス業が、3期連続の悪化の▲65.2と非常に厳しい状況。

売上は、全業種合計で今期▲36.9。業種別では、業況同様、建設業、観光・サービス業の4業種で悪化。減少理由のトップは「景気の低迷（後退）」ではあるが、「競争激化（競合店の増加・大型店の進出）」や「季節的な減少」を抜き、「取引先の悪化・減少」と並び、2年ぶりに「価格競争の激化」が2番目となり、デフレによる低価格化が売上減少の大きな要因の一つとなってきている。

原材料（商品）仕入価格は、全業種合計で今期15.2。回答数は少ないが、運輸・交通業が21.3から64.3へ大幅な上昇をしており、再び、ガソリン・軽油価格等が上昇しているように思われる。

採算は、全業種合計で今期▲40.3。業種別では、卸売業、製造業、運輸・交通業の3業種で悪化。最も、数値の良かった建設業（▲29.4）でも、来期見通しは▲70.0と先行き不安は大きい。

【当面の経営上の問題点】(上位三項目・複数回答)



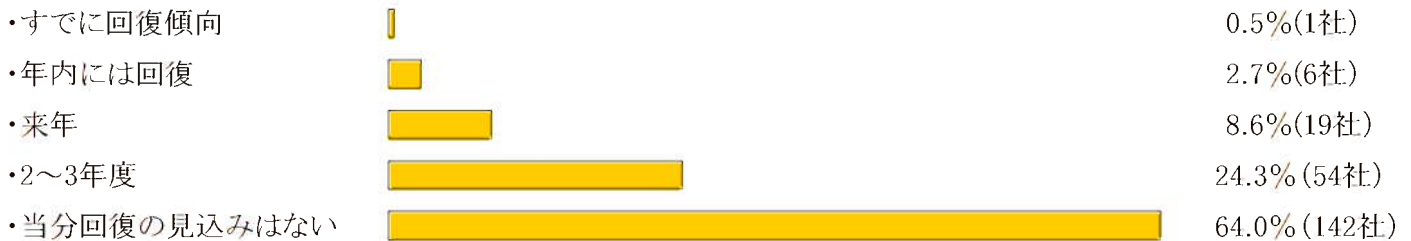
【「業況悪化に対し」貴社ではどのような対策をお考えですか？(2つ回答)】(上位三項目)



【数年後に中国横断道尾道松江線が開通するといわれていますが】



【国内景気が回復するのはいつ頃とお考えですか？】



【現在の雇用人員をどのようにお考えでしょうか？】



※百分率は有効回答数を分母として算出

【業況DI】

	前期に比べて	来期の見通し
全業種	▲ 37.9	▲ 48.7
小売業	▲ 39.4	▲ 54.3
卸売業	▲ 50.0	▲ 13.3
製造業	▲ 21.9	▲ 37.5
建設業	▲ 32.1	▲ 62.3
運輸・交通	▲ 20.0	▲ 53.3
サービス業	▲ 65.2	▲ 58.3

(好転割合－悪化割合)

【売上DI】

	前期に比べて	来期の見通し
全業種	▲ 36.9	▲ 51.2
小売業	▲ 35.7	▲ 55.9
卸売業	▲ 36.7	▲ 13.8
製造業	▲ 25.0	▲ 41.9
建設業	▲ 30.2	▲ 68.0
運輸・交通	▲ 53.3	▲ 50.0
サービス業	▲ 60.0	▲ 60.0

(増加割合－減少割合)

【採算(営業利益)DI】

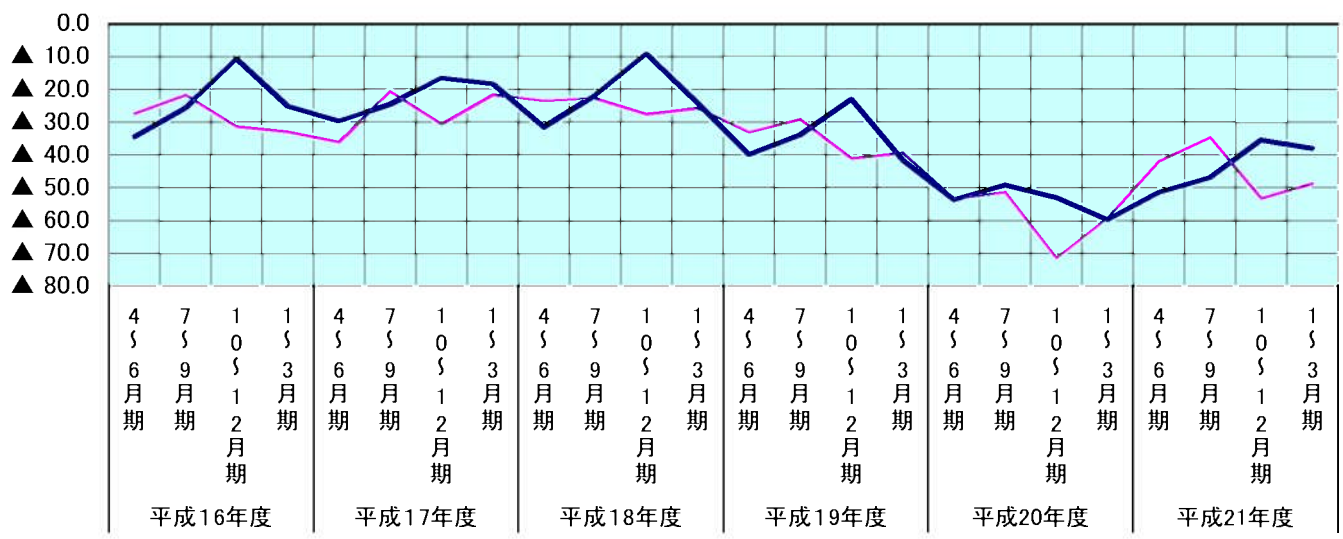
	前期に比べて	来期の見通し
全業種	▲ 40.2	▲ 55.3
小売業	▲ 39.4	▲ 59.4
卸売業	▲ 43.3	▲ 23.3
製造業	▲ 34.4	▲ 45.2
建設業	▲ 29.4	▲ 70.0
運輸・交通	▲ 60.0	▲ 64.3
サービス業	▲ 56.0	▲ 60.0

(好転割合－悪化割合)

全業種

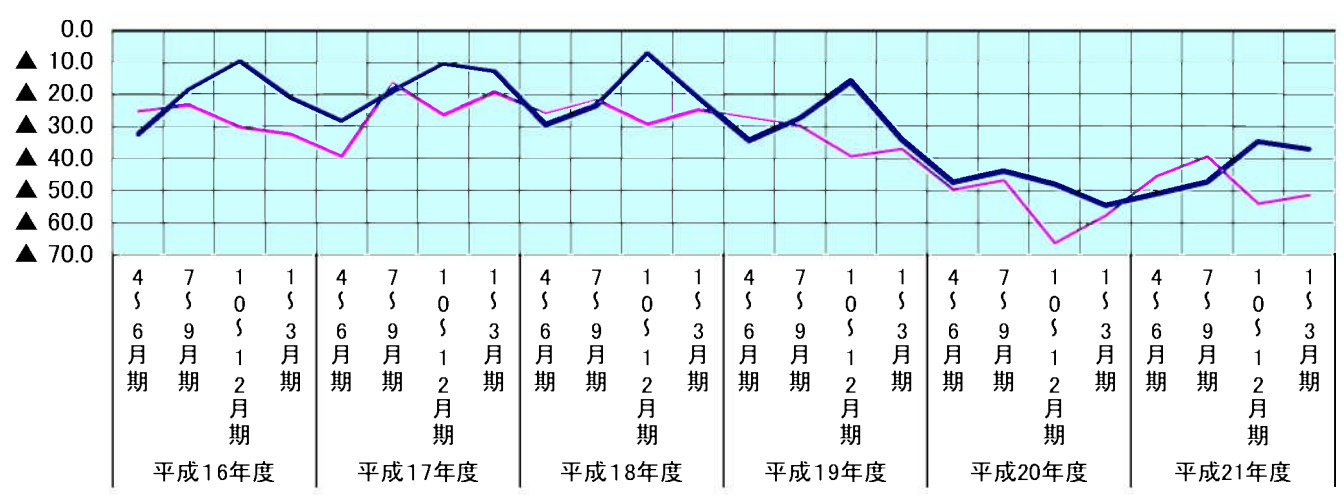
業況D.I.の推移

— 前期比 — 来期見通し



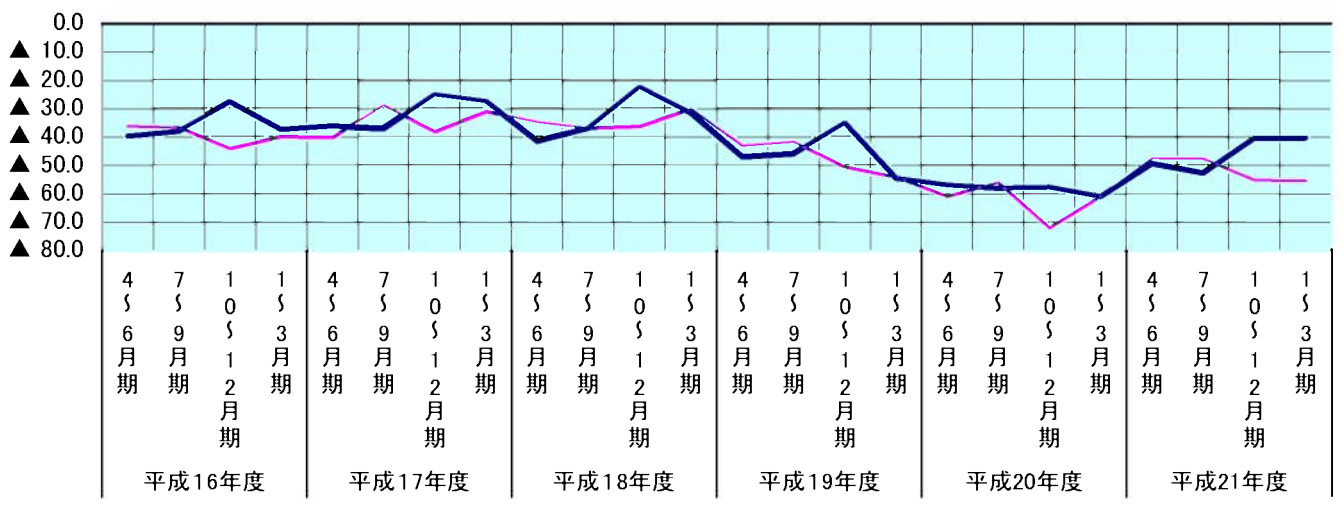
売上D.I.の推移

— 前期比 — 来期見通し





採算D.I.の推移

— 前期比 — 来期見通し



【景気天気図】

業 種	項 目	業 況	売 上	採 算
小 売 業	1 月 ~ 3 月 実 績			
	4 月 ~ 6 月 見 通 し			
卸 売 業	1 月 ~ 3 月 実 績			
	4 月 ~ 6 月 見 通 し			
製 造 業 (工 業)	1 月 ~ 3 月 実 績			
	4 月 ~ 6 月 見 通 し			
建 設 業	1 月 ~ 3 月 実 績			
	4 月 ~ 6 月 見 通 し			
運 輸 ・ 交 通 業	1 月 ~ 3 月 実 績			
	4 月 ~ 6 月 見 通 し			
観 光 サ ー ビ ス 業	1 月 ~ 3 月 実 績			
	4 月 ~ 6 月 見 通 し			

景気天気図の説明					
					
大変良い	良い	まあまあ	少し悪い	悪い	大変悪い